

時代の転換点に立って

引き続き市政を

担当するに当たって



土岐市長

塚本 保夫

厳しい経済情勢など、諸般の事情を踏まえた世論を受けて、市議会では地方議会史上に特筆すべき自主解散を敢然と決断され、土岐市政史上初の市長選挙と市議会議員選挙が同時に執行されました。

そうした中で、市民の皆さんのご理解を賜りまして、引き続き市政を担当させていただくこととなり、その責任の重大さに身の引き締まる思いで一杯であり、不惜身命をモットーに献身努力する覚悟であります。

経済のグローバル化に伴い、循環型の景気波動は影を潜め、構造的な対応が求められる知恵の時代の到来であります。

天然の資源が少なく、学識と技術こそが最大の資源であります我が国で、今求められておりますのは、中国など東アジア地域との同列の競争関係を脱却して、伝統的な地場の美濃焼産業の高付加価値化と、新技術や新産業

分野の開拓などの知的財産権に守られた企業の誘致による産業構造の高度複合化が急務であります。参考までに申し上げますと、これまでに誘致いたしました窯業土石以外の九企業の製造品出荷額が、既に本市全体の三分の一に達しており、地場産業の減少を補っております。

その上、多年推進してまいりました東濃研究学園都市構想も、いよいよ具体化する 때가近づいてまいりました。

こうした時に、幸い市内では現在、土岐川の治水安全度を高める抜本的な河川改修事業が大々的に実施されておりますし、交通の利便性を飛躍的に向上させる東海環状自動車道も、二年後の開通に向けて着々と建設が進んでおります。

これに合わせて、先端企業誘致の受け皿となります東濃新都市（ニューシティ）計画も、世界中のアイデアを集めて二年

後の一部街開きに向けて着実に進んでおります。

また、世界の一流ブランド品を取り扱うプレミアム・アウトレットモールの進出も既に決まっております。約八十店舗で九百人近い新規雇用が予定されており、年間で三百万人近い買い物客が来市されると予想され、期待をしております。

このように本市では、近未来の発展基盤が着実に整備され、大きく注目を集めつつあります。

ところで、日本の人口は、三年後の二〇〇六年をピークに、急速に減少するといわれております。こうした状況に対応するには、多くの人々に訪れていただける街づくりが急務であります。

つまり、交流と連携は地域活性化の切り札といわれますが、最近ではこれからの最大の産業は「旅産業」であるといわれるほどであります。ここで、改めて国内観光の振興の重要性について

土岐プラズマリサーチパーク構想



て調べてみますと、国内旅行者の支出に直接由来する付加価値額は十一兆円を超え、GDPの2.2%に達して、自動車産業に匹敵する我が国の主要産業の一つに数えられております。

また、これに伴う直接の雇用効果は二百万人弱で、全雇用者数の2.9%に達し、金融業や電気機械産業と同規模で、二次生産誘発効果まで含めれば、GDPの5.5%、国内雇用の6.3%が国内観光に起因するといわれております。

国内観光振興のキーワードは生活文化であるといわれ、国家戦略上重要な内需型産業の代表格となっております。

幸い、土岐市では生活文化に着目し、食文化の重要な要素である陶磁器をベースとした産業観光と、温泉利用と安全食材をベースとした濃南地域のスローライフを適宜に組み合わせ、「交流大地・土岐」を具体的に実現するときに眼前にやっ

てまいりました。

一方、少子・高齢化対策も重要な課題であります。保健・医療・福祉の連携と施設整備を進め、不足する特別養護老人ホームや介護老人保健施設は二年以内に倍増させ、入所待ちの解消を目指します。

そして、環境保全が重要な課題となっている今日、環境共生型の都市を目指して、自然や緑地を大切に、環境負荷の少ない街づくりのため、中心市街地の再生復活に積極的に取り組む、若者に魅力があり、高齢者に便利なバリアフリーの街づくり（ルネッサンス計画）を積極的に推進します。

また、心の豊かさを求めて、教育文化芸術の振興を図るため、泉小学校の全面改築や妻木公民館・泉西児童センターの建設、質の高い保育を目指して建設する仮称つまぎ保育園など、総合的な施策を着実に推進いたします。

前述いたしましたよう

に、日本の人口は、今後急速に減少へ転じるといわれております。

そのような時代背景を踏まえ、人々の交流を活性化し、大切な地場産業の新たな活性化と先端技術を誇る新産業分野を導入開拓して、産業構造の高度複合化を実りあるものとして、若者の雇用拡大と定住を促進できる魅力ある街づくりこそ、高齢者が安心できる住みよい街の基本であると信じております。

この理想を実現するために、市議会の皆さんと力を合わせ、市民各位に納得していただける合併実現にも誠心誠意取り組んでまいります。

皆さんの温かいご理解とお力添えを賜りますよう、心からお願ひ申し上げますとともに、皆さんのご清福をお祈りいたしまして、引き続き市政を担当させていただくに当たりましての決意とあいさつを申し上げる次第であります。

